

ロッキー山脈は力強く、男性的な堂々とした成り立ち。それに比べ街は小さくて可愛らしく女性的な雰囲気を持っている。

これが、私が初めてバンフに到着した時の印象でした。

派遣先は2つのホテルを経営していて、ハウスキーパーはその日の部屋の状況でどちらかのホテル、または両方を掃除します。スタッフの国籍は、カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・イギリス・アイルランド・ドイツ・リトアニア・チリ・フィリピン・韓国・台湾・日本…と、本当に多国籍でした。冬でスノボシーズンだったこともあり、スノボ目的で滞在中のオーストラリア人の方が本当に多かったです。（オーストラリアは南半球で季節が逆な為）また、私が滞在していたアコモのシェアメイトは少人数の5人。ルームメイトはリトアニア出身で、シェアメイトは全員国籍が違った為、職場でも家でもコミュニケーションをとるには英語が必須となり、英語を話したかった私にはピッタリの環境でした。

バンフは夏が観光シーズンなので、正直閑散期の冬は仕事量が少ないことも多々ありました。ですがその自由時間を利用して、仕事仲間と食事に出掛け職場以外に友達を作り、雪山へハイキングにも行きました。私は挑戦しなかったのですが、スノボを楽しむ同僚もとても多かったです。

ハロウィンには皆で仮装、ホテルやアコモでのクリスマスパーティー、年越しのカウントダウン、毎週日曜日はSunday Fundayといって食事に出掛け…イベントも充実していたと思います。クリスマスから年越しにかけては仕事が尋常ではない程忙しかったですが、1月半ばには連休を頂いて、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴとロサンゼルスへ10日間の旅行にも行きました。時給も良く、何よりアコモ代がバンフで一番安かったので、お金は貯めやすかったです。ハウスキーパーの仕事も、慣れてしまえば要領よくこなせるようになると思います。私は今回、2015年10月23日～2016年2月3日までの約3ヶ月という、WPSにしてはとても短い期間での参加となりました。

WPS参加を決めた段階での勤務予定期間は2016年の10月、私のワーホリビザが切れるギリギリまででした。なぜこのように短い期間になってしまったのか、それは決してマイナスな原因ではありません。

バンフはとても素晴らしい場所です。空気も綺麗で、観光客の方も私たちの様にワーホリの方も、現地の方も、皆本当に優しく心温かい方たちばかりです。ハウスキーパーは英語力が伸びない、なんてことも多く聞きますが、私は結局すべて自分次第だと思います。確かに努力は必要ですが、世界中から沢山の人が集まるバンフでは、英語を使って友達を作る機会が沢山あると思います。目的をしっかりと持って柔軟に環境に対応しながら、大自然からエネルギーをもらい、自分に正直に本音でいることが、バンフで生活する上で、そしてワーホリ生活をする上で、とても大切だと思います。

今回残念なのは、夏のバンフを見ずにバンフを離れてしまったことです。

ですがカナダに滞在しているうちに、機会があれば夏のバンフを是非経験してみたいなと思います。

Profile-プロフィール-

お名前：湧井 夏京さん

派遣期間：3ヶ月間

派遣先：バンフ

滞在方法：寮

私の思い出の写真

